

(別 添)

調 査 概 要

【施設名】

JAいるま野 さといも選果場

【事業主体】

いるま野農業協同組合

【所在地】

埼玉県狭山市大字堀兼391-3

【設備概要】

敷地面積 : 4,519.66 m²

構 造 : 鉄骨造 2階建

床面積 : 1階 3,037.50 m²

2階 209.08 m²

設備概要 : 簡易デパレタイザー 360 コンテナ /時間

: 根切り機 500 kg /時間

: 形状選別機 5トン /時間

: 1次選別 作業員 小玉、規格外 取り除く

: 2次選別 2画面外観センサー 6玉 /秒

: 3次選別 作業員 最終選別

: 箱詰め 自働秤量機 162箱/時間

: パレット積み ロボットパレタイザー 585箱/時間

【総工費】

8億8000万円



専用のコンテナで集荷され生産者ごとに集荷票が添付され区分して選別される。



選別機投入部へパレットに積載された
状態でフォークリフトで搬入される。

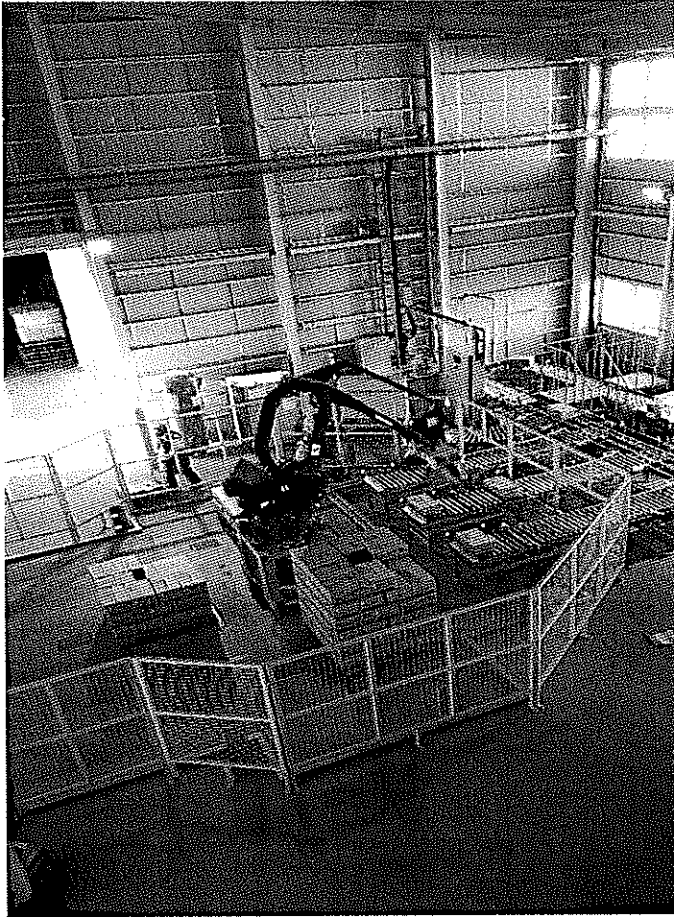
簡易デパレタイザーにより投入ローラ
ーコンベアに乗せられる。



人手による選別を経て画像センサー
により自動選別される。



自動秤量機により10キログラム
単位で箱詰めされる。



箱詰めされたさといもはローラーコンベアにより、児童シール機を經由しパレタイザーロボットへ運ばれパレットに自動で積まれる。

【利用者数】

狭山、所沢、川越など、いるま野管内340名の生産者が利用

【利用料金】

10キログラム1箱あたり250円

【1日の最大処理量】

10キログラム箱 4,000ケース

【所感】

日本で最大級のさといも選果場とのことであった。近代的選果施設は農家にとって時間と手間のかかる選別工程を肩代わりする自動化施設であり、生産者の労働力軽減や分業化による作業効率の改善が期待される。今後は、施設の利用拡大、また小規模生産者は、まだまだ自宅の作業所で選別していることもあり、高水準のブランド力を継続してゆくための将来展望をしっかりと構築してゆくことが重要であると思われる。

本年スタートした新進の施設に農家所得向上の先駆けとなることを期待するものである。